計算機設計論 レポート課題:MIPS プロセッサの回路設計

1295149 森岡悠人

2025年8月16日

1 モジュール仕様書

Quartus の RTL Viewer を用いて出力した, DE10-lite に書き込んだモジュールのブロック図を図 1 に示す.

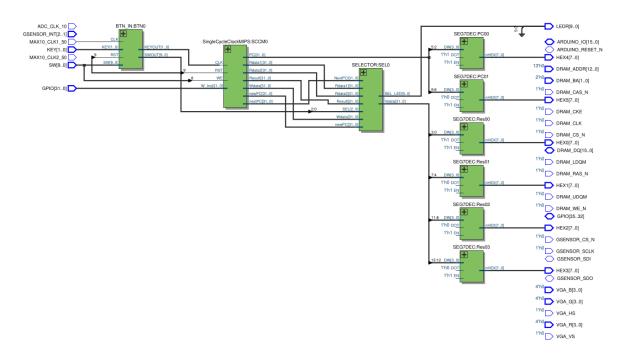


図1 作成した MIPS 回路のブロック図

2 動作検証

作成した verilog コードが MIPS の命令セットを実行できるかどうかの検証を行った。テストプログラムとして、教科書 [1] に掲載されているアセンブラプログラム(load_store, arithmetic, array, if_then_else, while, function, recursion, hanoi)を用いた。プログラムは CPUlator MIPS System Simulator [2] を用いてコンパイルし、32bit の 16 進数で出力されたバイナリを IMem.txt に書き込んでおき、IM に読み込ませて実行し

た. 動作の流れとデータメモリの中身を確認するため,modelsim20.1 を用いて動作のシミュレーションと検証を行った。シミュレーション結果は,display 命令を用いて,PC, Instruction,ALU_result レジスタの内容を表示することで確認した。シミュレーションの様子を図 2 に示す。

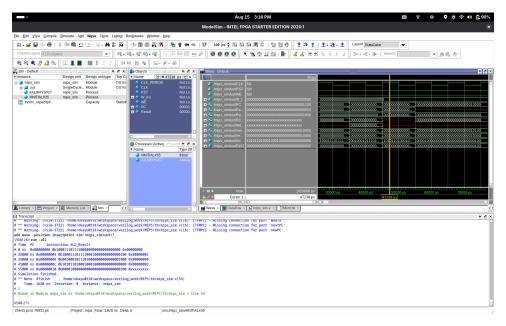


図 2 modelsim によるシミュレーションの様子

2.1 test: load_store

2.1.1 load_store のテスト結果

- # Time PC Instruction ALU_Result

- # Simulation finished.

- 2.2 test: arithmetic
- 2.3 test: array
- 2.4 test: if_then_else
- 2.5 test: while
- 2.6 test: function
- 2.7 test: recursion
- 2.8 test: hanoi
- 3 考察
- 4 感想

参考文献

- [1] 成瀬正. コンピュータアーキテクチャ. 森北出版, 第1版, 2016.
- [2] Cpulator mips system simulator. https://cpulator.01xz.net/?sys=mipsr5b. Accessed: 2025-08-16.